



拝殿前に初詣の方々の行列ができました



令和8年丙午（ひのえうま）の年が穏やかに明けました。

著名な神社・仏閣への参拝に先立ち、「初詣は先ず氏神様へ」ということで、今年も大晦日23時40分頃から元日1時頃にかけて、250人超の方が春日神社に初詣に出かけ、お神酒と御神饌の接待を受け、福袋を授かっていました。

深夜1時半から、拝殿において厳しい寒さの中、新年を祝い、一年の無病息災を祈願する歳旦祭が厳かに執り行われました。

平穩に新年が動き始める！

春日神社



いまいは
今

vol. 308

発行 今井町並み保存会
発行日 令和8年2月1日
電話 0744-22-1128
<http://www3.kcn.ne.jp/~imaicho/>
e-mail imaicho@m3.kcn.ne.jp
◇ご意見・ご感想は
今井景観支援センターまで

寒風にも負けず 八日恵比寿 開催



春日神社の拝殿に向かつて、右奥に六つの小さな社（やしろ）が祭られています。右から、金毘羅大権現、厳島神社、恵比寿神社、人丸神社、天満宮、八幡宮です。

1月8日、10時からそのほぼ中央の恵比寿神社の前に祭壇を設け、テントを張り、紅白の幕を巡らせ、ゴザを敷いて、商売繁盛を祈願する祭礼を行いました。

例年通り参拝者には、ぜんざいが振舞われ、縁起物の熊手の販売もされましたが、参拝者は少なく、商いの町の復活には程遠い状況でした。

勢いよく炎が舞い上がる！

1月14日 大とんど

10時から、春日講の世話人が、強風を考慮に入れてとんどの櫓を低く設えました。13時前に拝殿で神事の後、13時に今年の歳男である中島章行氏が、恵方の南南東から点火しました。



とんどは、正月の松飾りやしめ縄、古いお札や破魔矢等各家庭でお祭りされていた

ものをゴミとして捨てるのではなく、燃やして煙と共に空へお送りする意味があるとされています。

空き家の活用を進めるために

NPO法人今井まちなみ再生ネットワーク

1月18日（日）、11時〜今井地区公民館講堂において、「重伝建地区内の空き家の活用を進めるために」をテーマに説明会と意見交換会が開催されました。

NPO法人今井まちなみ再生ネットワーク（米村博昭理事長）では、町の活性化のため、町並みの価値を維持しつつ、建物の多様な活用を考えるための「今井町における建築基準法等に関する研究会」を立ち上げ、昨年2回研究会を実施。今回は住民向けに、建築用途の見直しの検討結果の説明を行い、参加者の意見を聞きました。

重伝建地区に指定後32年を経て当時と比べて、高齢化が進み、人口は900人を切っています。世間の状況も著しく変化しています。今井町は今後も「静かな住宅地を目指す」のか？それとも現在の用途規制を緩和し、建物の多様な活用のための見直しを目指すのか。どのような方法で実現すればよいのか？などについて、住民の意見を聴取しました。質問や意見発表は、概ね、地区内に居住して何らかの（近所に迷惑の）かららない商いをする方は歓迎で、観光地化は望まないという内容でした。

全国町並みゼミ台北大会

参加者からの報告③

若林昭子

海外旅行をしなくなつて十年以上経つので、台北到着まで、不安でいっぱいでした。しかし、ゼミの会場につき、同時通訳のイヤホンを借りて日本語が聞こえて来た時、そして全国から集まった顔見知りの人たちにも会えてホッとして、海外にいるのを忘れる程に落ち着きました。

日本統治が五十年もあり、酒造所、菓屋、お茶葉屋、布屋等色々なお店が残っていました。丘如華さんがこれらの保存の必要性を感じ、行政の方や大学教授等大勢の方々と連携をとり、西村幸夫教授も巻き込んで、昔から商業の中心として最もにぎわっていた台北駅南側の大稻埕の街の保存に大変な努力をされ、行動されました。

その大稻埕に分科会で案内して頂きました。看板が日本語でそのまま残っているのがたくさんあり、看板と実際のお店と全く違うところもありました。

日本の保存活動は、民間でやっている所が多いと思います。台湾は行政で容積移転制度などを使って補償がされています。台湾の人達の頑張りとお変な歓待を受けて感激して帰ってきました。



全国町並みゼミ台北大会

参加者からの報告④

田原幸子

私達がフィールドワークした、大稻埕は日本統治下には台湾最大の問屋街として栄えていた。赤レンガ建築や台湾式アーケード・バロック様式の商館が数々残り再活用されていた。また、人々の信仰の場となつている廟には参拝者が絶えず、今も昔も人々の社交場となつていた。

1977年以降の都市計画で、道路の幅が決定された際には伝統的な街並みが失われる懸念が生じたが、市民や専門家による保存運動の成果により、文化遺産として保全された。

午後からの分科会においても文化財保存・コミュニティづくりの現実。歴史的建築物の活用と連携。住民の安定した暮らしと地域の合意形成。観光と保存の間に生じる葛藤などの発言が出され、地域住民が熱い思いを語っていたことは印象的だった。さて今回の大会では、台日の高校・大学生が、会の運営に参加している姿を多く目にした。彼らは、分科会・全大会の手伝いだけでなく、会場で熱心に記録をとったり意見を述べたり、自発的に活動していた。最終日の各分科会まとめ発表の為、夜遅くまで話し合いまとめ上げた姿には、感銘を覚えた。まさに地域を超え世代を超えて共に学びあえた大会であつたと思う。

節分祭開催のお知らせ

今井町 春日神社

2月3日(火) 16:00~17:00 (役員・世話役 15時30分集合)

節分祭

ご供まき (豆・餅・菓子)

朗読会開催のお知らせ

『朗読会 瑠璃の語り』

語り座 軸 with 金田福奈

朗読 ことばの玉手箱

～聴く楽しみ 語る喜び～

In 今井町 2026

朗読 藤原 実朝 源朝臣 義経 源朝臣 義経 源朝臣 義経

2026年 2月21日(土) 13:30~15:00

会場 今井まちづくりセンター (重要伝統的建造物群保存地区)

入場料 500円 当日受付

お問い合わせ saginuma.mini@nifty.com

ボランティア・スタッフ募集

今井町町並み保存会では、今井景観支援センター・重文米谷家・今井まちや館で勤務するボランティア・スタッフを募集中。お問い合わせは、07444・22・1128まで

お詫びと訂正

先月号の「全国町並みゼミ台北大会参加者からの報告②」の執筆者の名前の漢字が間違っていました。正しくは、「大西由紀子」さんです。お詫びして訂正します。